

ウイルスガードボード

標準施工仕様書

2022年12月28日

 **チヨダウーテ株式会社**

目次

この「標準施工要領書」は、必ず施工前に注意深く読み、よくご理解ください。
この「標準施工要領書」は、この施工全般にわたって、いつでも確認できるように保管しておいてください。

1. 総則
2. 安全対策
3. ボードの運搬、保管
4. 製品ラインナップ
5. 施工要領
6. 注意事項
7. 納まり図(捨て貼り工法の場合)

1. 総則

1-1 適用範囲

本標準施工仕様書は、建築物の内装にチヨダウイルスガードボードを使用する場合について適用する。

2. 安全対策

- ・ 製品は、必ず定められた目的に使用し、目的の用途以外には使用しない。
- ・ 製品の切断、加工、施工に関しては、粉塵が発生する場合がありますので、安全メガネ、防塵マスクを着用する。
- ・ 作業現場での安全性を確認し作業を進める。

3. ボードの運搬、保管



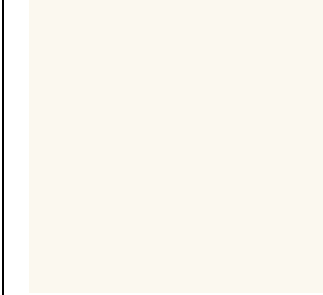
3-1 運搬・搬入

- ・ 事前検討された搬入計画に基づき、管理担当者に指示を受ける。
- ・ 荷卸しや持ち運びの際は、角や端部に損傷を与えないように注意する。
- ・ 車両などで運搬する場合には、ボードを平積みとして立てかけてはならない。
- ・ 安全帽、安全靴、滑り止め手袋などを着用し、重量を考慮する。

3-2 保管

- ・ 吸湿して強度が低下する恐れがあるので、湿気の少ない乾燥した場所を選ぶ。
- ・ 保管の際は製品が吸水しないようパレット、りんぎ等を使用し、防水シート等で雨や水が掛からないように保護する。

4. 製品ラインナップ

商品名	チヨダウイルスガードボード		
	クロス調	スパーゴ木目	アイボリー
			
厚さ	9.5mm		
寸法	910mm×2,420mm		
重量	約 15.0kg/枚(約 6.8kg/㎡)		
準不燃認定番号	QM-1035		

5. 施工要領

5-1 材料

ボードの下地は鋼製或いは木製とし、後述の推奨留め付け材を使用する。

5-2 切断加工

切断加工は、カッターナイフ、電動丸鋸、のこぎりなどで行う。

5-3 使用部位

室内に面する壁や天井に使用する。

5-4 留意事項

表面を清掃する場合は、雑巾などで水拭きをする。ひどい汚れは、中性洗剤を布に染み込ませて拭き取る(シンナーやクレンザー、アルカリ性洗剤や漂白剤は使用しない)。

油などの汚れは、跡残りが生じるため注意する。

擦れ等により、表面の擦り傷、柄が消える現象等が発生することがあるため注意する。

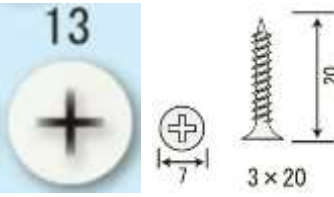
防耐火、遮音、耐力壁の大臣認定構造、告示仕様及び省令準耐火構造の場合は、その仕様に準じて施工してください。

◇ 1枚張り（直張り）

(1) 下地の種類と間隔

	鋼製下地 [※]	木下地	
種類	JIS A 6517 に規定する板厚 0.8mm 等を使用する。	JAS（日本農林規格）製品又はこれに準ずるものを使用する。	
間隔	300mm 程度	在来軸組工法 柱・間柱 450mm 程度	枠組壁工法 たて枠 500mm 以下

(2) 留付け

	鋼製下地		木下地
種類	サワタ製カラービス 品番 A-13 (頭径 7mm、φ3×20mm) など		
間隔	周辺部 200mm 以下	中間部 300mm 以下	接着剤を用いステープル等を併用して取り付ける。

(3) ボードの留付けはボード端部の破損を防ぐため、ボード端部から 10mm 以上離れた位置に、ビス頭が面材と面一になるように留付ける。

(4) 周辺部 200mm、中間部 300mm の間隔での標準使用量は以下の通り。

下地のピッチ@303	下地のピッチ@455
44 本/枚	35 本/枚

◇ 2枚張り（捨て張り）

(1) 下地の種類と間隔

	鋼製下地 [※]	木下地	
種類	JIS A 6517 に規定する板厚 0.8mm 等を使用する。	JAS（日本農林規格）製品又はこれに準ずるものを使用する。	
間隔	450mm 程度	在来軸組工法 柱・間柱 450mm 程度	枠組壁工法 たて枠 500mm 以下

(2) 下張りの 9.5mm 以上の石膏ボードの留付け

	鋼製下地		木下地			
種類	タッピンねじ φ3.5×22mm など		石膏ボード用くぎ GNF40 など			
間隔	周辺部 200mm 以下	中間部 300mm 以下	在来軸組工法		枠組壁工法	
			周辺部 200mm 以下	中間部 300mm 以下	周辺部 100mm 以下	中間部 200mm 以下

- (3) 上張りのチヨダウイルスガードボードは接着剤と両面テープ併用で上張りとは下張りの継目が重ならないように留付ける。

【推奨接着剤+推奨両面テープ】

セメダイン	コニシ	タイルメント
HS 工法	ボンド TM 工法	TT 工法
(接着剤) ボードロック 310,315	(接着剤) MPX-1	(接着剤) パネルボンド MK-720
(両面テープ) ボードテープ 310, ボード・パネル用テープ	(両面テープ) ボード TM テープ W1	(両面テープ) ボードタック

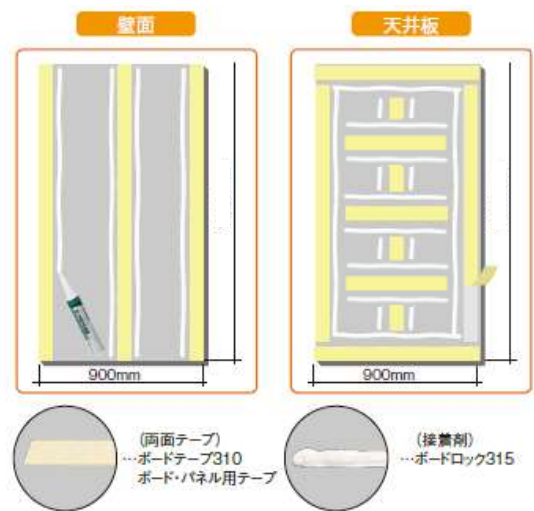
(参考) セメダイン HS 工法の標準施工例

- ① 接着剤を塗布する面の清掃を行う。
- ② 標準使用量は以下の通り。

ボードロック 315		ボードテープ 310	
壁面	天井面	壁面	天井面
1.1 本	1.4 本	7.3m	9.4m

※使用量はチヨダウイルスガードボード 1 枚 (3 × 8 尺 (2.20 m)) あたりでの場合

- ③ 取り扱いや保管を含めた詳細はセメダイン「HS 工法」のチラシや施工マニュアルを必ずご覧ください。

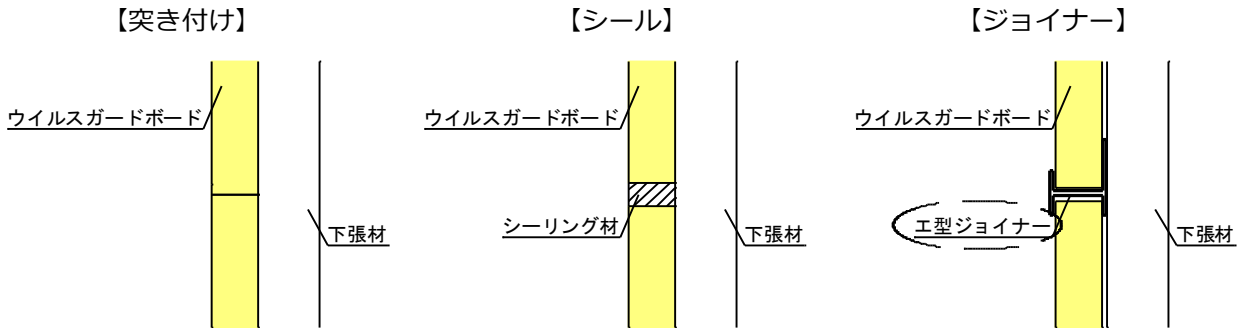


6. 注意事項

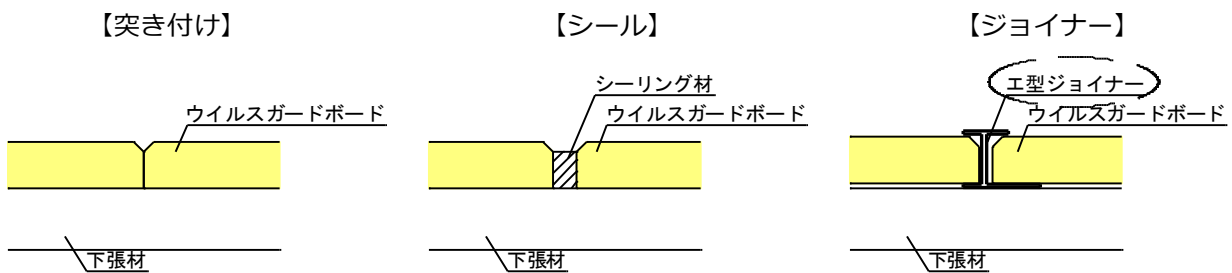
- ・ 浴室や脱衣所などの高温多湿な場所、外部には使用できません。
- ・ 施工時や施工後に高湿度になった場合は、カビが発生する危険性があるため、除湿や換気等を行い、湿度を下げるように対策してください。
- ・ 施工後に漏水や雨漏りで製品が吸水した場合は、強度低下や脱落の危険性があるので、必ず張り替えてください。
- ・ 石膏ボード製品の長期暴露耐熱温度の上限は 50℃です。50℃以上で長期間さらされると、石膏（二水石膏）の結晶水が徐々に減少するので、石膏ボード製品としての強度が低下するとともに防火性能も低下するので、50℃以上となる場所での保管及び施工は避けてください。
- ・ 家電家具、棚板、額縁などの重量物を取り付ける場合は、荷重に耐え得る木造下地、鋼製下地及び補強板を使って施工してください。
- ・ 本製品にはアスベストやクロロピリホスを使用していません。
- ・ 本商品はホルムアルデヒド発散建材を定める告示対象外ですので内装使用面積の制限は受けません。

7. 納まり図(捨て貼り工法の場合)

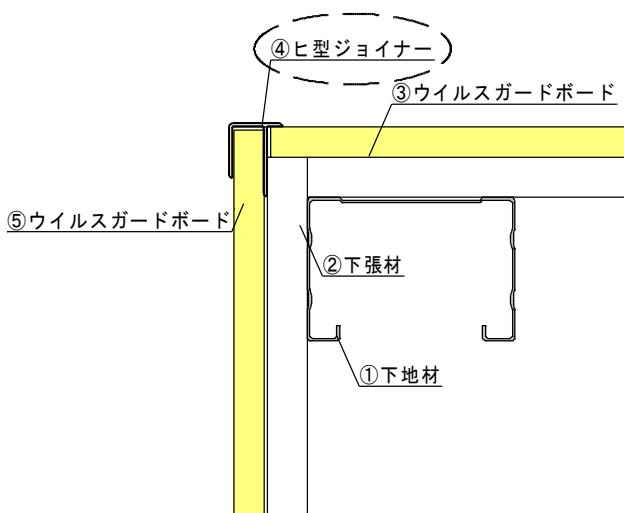
■ 平目地部（水平目地）



■ 平目地部（縦目地）

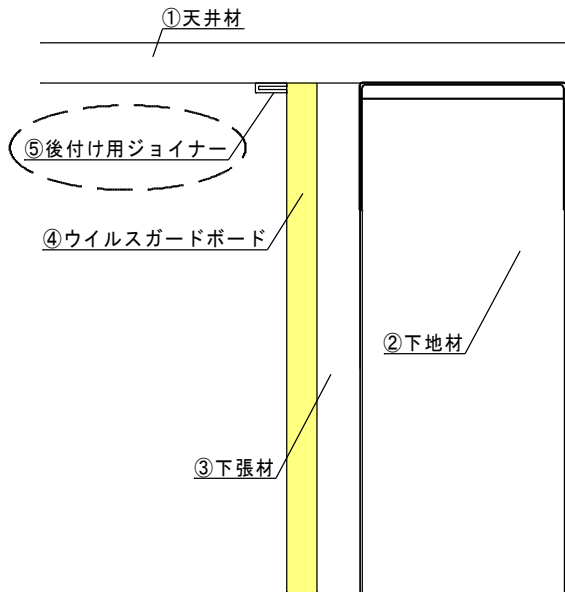


■ 出隅取合部

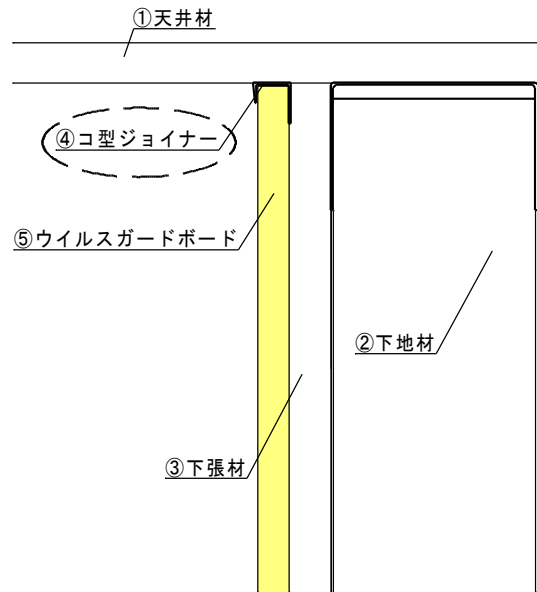


※①～⑤は施工順序

■ 天井-壁取合部

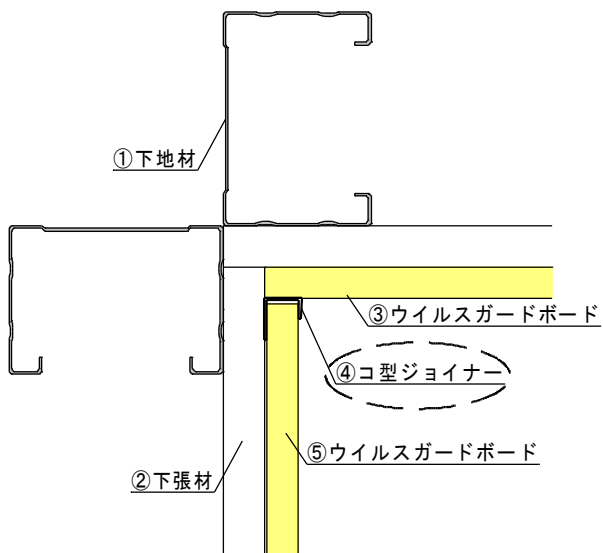


※①～⑤は施工順序



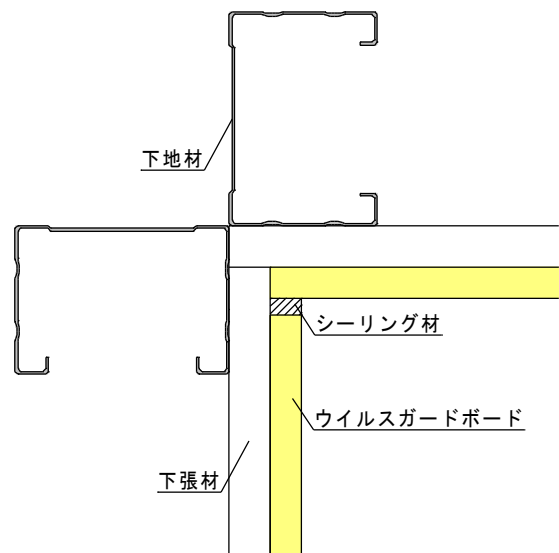
■ 入隅取合部

【ジョイナー】



※①～⑤は施工順序

【シール】



【推奨ジョイナー】（株式会社シンワ）

塩ビジョイナー(白)				
商品名	目地部 工型ジョイナー10	出隅 ヒ型ジョイナー10	入隅・見切り コ型ジョイナー10	見切り 万能见切り G号 (テープ付き)
形状				
長さ	1820mm	2730mm	1820mm	1820mm
写真				